



# グリーンラックの組み立て方

この度は、屋外薪用保管庫グリーンラックをご注文いただき誠にありがとうございます。この説明書をよくお読みいただき、正しく、安全に組み立てをしてください。

今後ともお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

※組み立てにあたっては作業用手袋を着用してください。

※梱包用段ボールはリサイクルに努めましょう。

※薪が乾くよう、風通しの良い場所に設置しましょう。

※補助作業人が必要な工程がございます。



店長 塩原 真貴

〒381-2214 長野市稲里町田牧1327-7 TEL.026(274)5485 FAX.026(274)5486

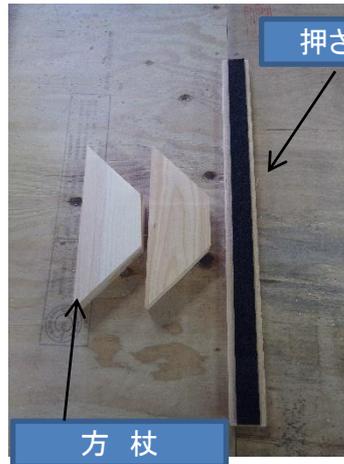
Mail [info@reborn-nagano.co.jp](mailto:info@reborn-nagano.co.jp) NewWEBショップ<http://www.shop-reborn.com/>



# 36416R 部材一覧

不備・破損がないか確認してください。

- ・ 床パネル×2台
  - ・ 壁パネル×3台
  - ・ 屋根パネル×2台
  - ・ 方杖×2本
  - ・ 押さえ胴縁×1本  
(屋根連結箇所への防水用)
  - ・ 鋼製束×6ヶ  
(床パネル同志の連結用6本)  
(屋根パネル同志の連結用6本)
  - ・ ビス 65mm×12本  
(床パネル同志の連結用6本)  
(屋根パネル同志の連結用6本)
  - ・ ビス 75mm×40本  
(壁パネル固定用～36本)  
(方杖固定用～4本)
  - ・ ビス 65mm細ステンレス×2本  
(押さえ胴縁取付け用)
  - ・ ビス 鋼製束取付け用ビス×24本
- ※釘が同封されていますが、使用しません。



各種ビス



×6ヶ



# 完成イメージ



搬入・納品には自転車1台分程度のスペースが必要です。



## 材料表

床フレーム 壁フレーム 屋根フレーム	床板	壁板 屋根板	押さえ胴縁	防水
SPF(外国産) 防腐剤注入 無塗装	針葉樹構造用合板 F☆☆☆☆ 無塗装	杉(国産) 無塗装	杉(国産) 無塗装	桁上両面パチルテープ® 押さえ胴縁下 EPDMパッキン

# お客様にご用意いただくもの

## <必ずご用意ください>

- 作業用手袋 
- インパクトドライバー(+ビット) 
- モンキーレンチまたはスパナ19 
- 塗料および刷毛など
- 設置場所が柔らかい場合、  
平石、レンガやブロックなど4ヶ



インパクトドライバーはホームセンターなどで¥5,000程度から販売しております。プロ用は3万円程度します。モーターの性能やバッテリーのもちが異なります。

## <あると便利なもの>

- 水平器   
(食品用トレーなどに水を入れ、代用も可能)
- 墨つぼ  
(オンデュリン屋根追加の場合)

## <必要に応じてご用意ください>

- 控え杭など転倒防止用部材
- 雨とい(軒とい2.2m、受け金具3ヶ、クサリなど)
- 防虫ネット

# 組み立て前に塗装をしましょう

梱包用段ボールを下に敷いて、部材の塗装をしましょう。

- 組み立て後に塗装をしても構いませんが、屋根パネルは脚立などが必要となります。
- また床パネルの裏、屋根パネルの裏も、湿気対策・板葺き屋根の反り防止のため塗装をしてください。ラックの耐久性・防水性がアップします。
- 塗料は外部用のオイルステインや水性塗料がホームセンターなどで購入できます。
- 刷毛やローラーを用いて木部全体を塗装して下さい。

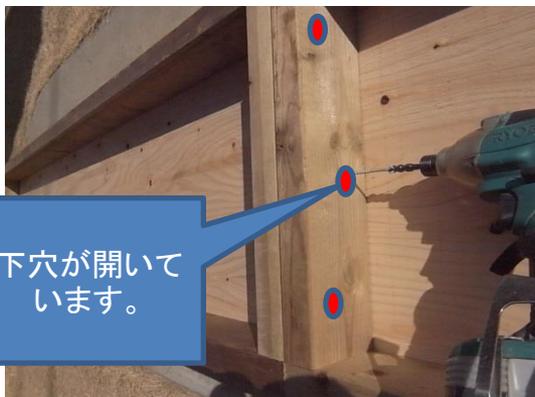


## それでは、組み立てましょう

- ① 設置か所に床パネル2枚を裏返しの状態に横に並べます。



- ② それぞれを65mmビスで片面3本、両面で計6本で合体させます。



下穴が開いています。



反対側からも65mmビスを打ってください。

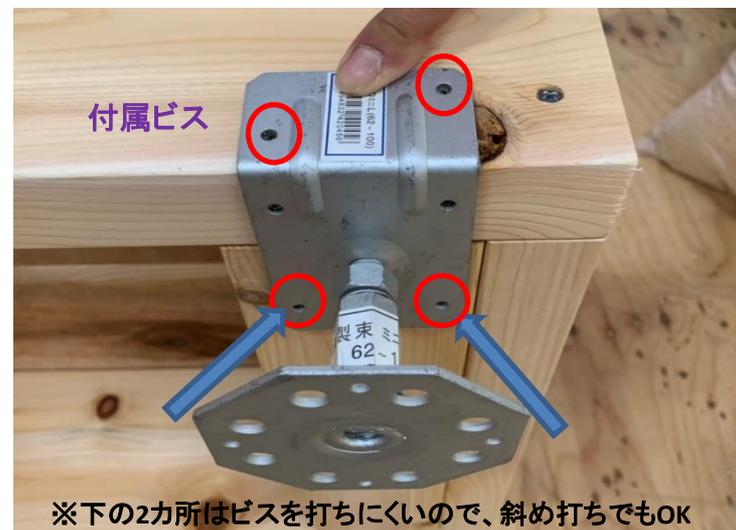
75mmビスだとビス先が貫通して反対側に飛び出しますので注意してください。

- ③ 床パネル4隅、中央2か所、合計6か所に鋼製束を取り付けます。



このあたりが最適です。

- ④ ビス穴のあいている6か所の内、4か所(赤丸)ねじ止めします。



付属ビス

※下の2カ所はビスを打ちにくいので、斜め打ちでもOK

・中間部は両床パネルにまたがるように配置してください。  
床パネル組み立て用のビス頭と、鋼製束のビス用穴  
が重ならないよう、微調整してください。



④ 床パネルをひっくり返します。補助人がいると助かります。（設置場所  
が地面の場合、鋼製束の下に平石・レンガ・ブロックなどを敷きます。）

⑤ 水平器とモンキーレンチ(スパナ19)を用意します。設置したい場所に  
鋼製束を仮置きします。鋼製束の調整可能範囲は約5cmです。地面はで  
きるだけ平坦に均しておきましょう。



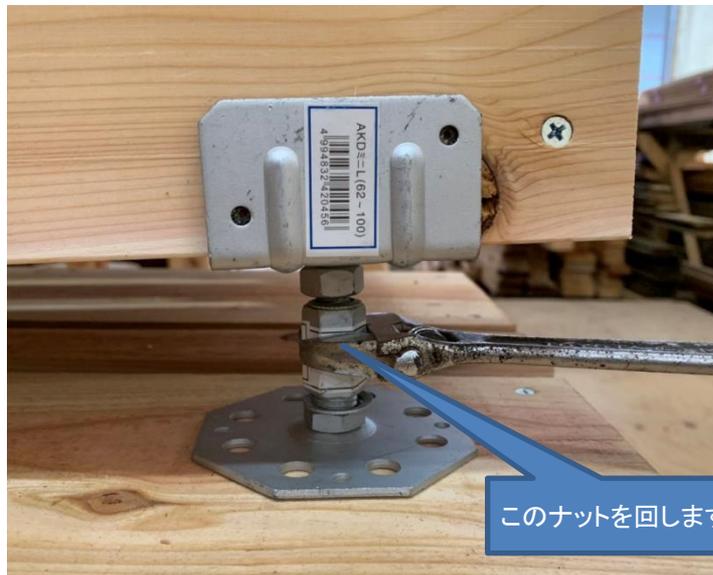
6か所すべてにレベルフットが取り付けました



水平器の気泡がおおむね中央に来るようにレベル調整しましょう。薪を入れるとまた狂いますので、ほどほどに・・・



※ 地面の場合は、このように石やレンガの上に乗せましょう。地面が柔らかい場合は、沈みこみ防止のため、出来るだけ大きいものを敷いてください。石(レンガ)の下の土を10cmほど掘り、砂利と置き換えると、地面が強くなります。



# 壁を立てましょう

⑥ 床パネルの上に壁パネルを仮置きします。(風などで倒れないよう、補助人にて支えてください)



・75mmのビスとインパクトを用意します。

風倒れ注意！！補助人にて支えてもらってください！！



中央の壁です。

ラインに合わせてセットし、下穴に合わせて75mmビスにて片側3本ずつ、合計6本ビス止めします。

## ■ヒント

- ・一番高いところを基準にして、他をその高さに調整します。
- ・組み立て完成後、薪を入れると重量で地面が沈下し、再度レベル調整が必要となります。この時点ではおおよそ平ら、という状態で構いません。
- ・鋼製束の調整可能範囲は約5CMです。調整可能範囲を超える場合は平石(レンガ・ブロック)の厚みで調整してください。

⑦ 床パネル端と壁パネルの角を合わせ、インパクトドライバーでビス止めします。(外側は垂直に3本、内側も同様3本。下穴加工済み) 75mmビス 3本



まず、ここを揃えてください



下穴に従いビス止めします

下穴は垂直に3か所あります。



⑧ 壁の内側の3か所もビス止めします。75mmビス 3本



中央、左、右の壁パネルを立てます。しっかり建ちましたか？



⑨ 屋根パネルを持ち上げ、壁パネルの上部に載せます。  
重量約25kgあります。できるだけ2人で行いましょう。



⑩ 屋根パネル同志を連結してください。65mmビスで片側3本ずつ計6本で引っ張り合います。床パネル連結と同じイメージです。



⑪ 屋根パネルと左右の壁パネルを下図のように揃えます。



仮置きの状態です。



ここを揃えます

ここも揃えます



⑫ 床一壁パネルと同様に75mmビスで外側 3本垂直、内側も3本ビス固定します。



⑬ 方杖(方杖)を75mmビスで2か所 取り付けます。



さあ、もう一息です！



⑭ 脚立を用意し、中央にセットします。



脚立に乗った状態でラックに寄りかかると、ラックごと転倒する恐れがあります。ご注意ください。

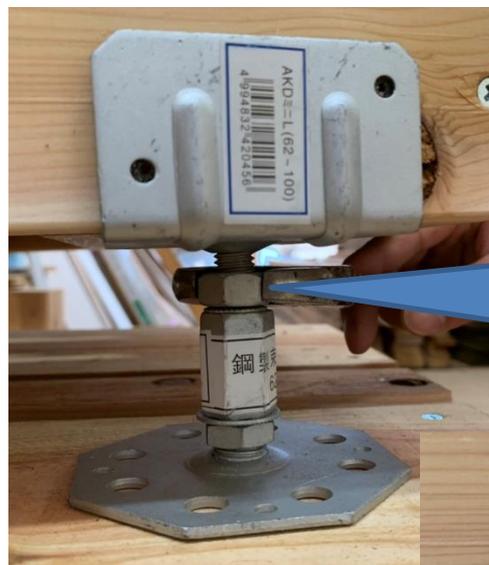


釘頭からの漏水を防止するため、黒いパッキンセット位置は注意！

押さえ胴縁を、黒いパッキンが釘頭を覆うように注意して、双方の屋根パネルにまたがるように乗せ、65mmステンレスビス2本にて止めつけします。



⑮ 最後に真ん中ナットで再度レベル調整をして、鋼製束の上側と下側のナットを真ん中のナットに向かってしっかり締めてください。



このナットを  
下方向に回し、  
締め込んでく  
ださい。



このナットを  
上方向に回し、  
締め込んでく  
ださい。

# 組み立て完了！

## ■ご注意

・グリーンラック組み立て完成后、速やかに薪を積み込んでください。**空の状態だと強風で倒れる恐れがあります。**転倒して破損してしまった場合は一切の責任を負いかねます。(対物含む) 必要に応じて転倒防止策を施してください。

・必要に応じて雨といを設置してください。

・必要に応じて防虫網でラック全体をカバーしてください。

・**設置状況に応じて必要な補強をしてください。**

(強風や地震などにより転倒・倒壊しないような措置を施してください。)

・屋根面への積雪が50cmを超える場合、雪おろしを行ってください。

・本製品は天然木を使用しており、その性質上割れや反り、乾燥による収縮などが発生いたします。あらかじめご了承ください。

・屋根防水には特殊パッキンにより万全を尽くしてはおりますが、漏水する可能性がございます。

・定期的に防腐塗装を施してください。(1~2年毎)